

# 令和7年度 新潟県原子力防災訓練 アンケート結果

## 1 アンケートの実施概要

新潟県原子力防災訓練終了後、市内の避難準備区域（UPZ）の住民を対象にアンケートを実施した。

- 目的：新潟県原子力防災訓練（令和7年11月9日（日）実施）における住民の屋内退避訓練の実施状況等を確認し、今後の原子力防災訓練や避難計画の実効性向上のために活用する。
- 対象：柿崎区（黒川・黒岩地区除く全町内会）、吉川区（全町内会）、大潟区（雁子浜・内雁子町内会）、大島区（板山・田麦・竹平・藤尾町内会）
- 配布：事前配布  
対象地域の各町内会に10部配布（10世帯未満の町内会は全世帯に配布）  
※令和7年度上越市総合防災訓練参加地区（柿崎区黒川・黒岩地区）を除く
- 回収状況：

区	アンケート配布数	アンケート回収数	アンケート回収率	配布町内会数	町内会回収数	町内会回収率
柿崎区	404	329	81.4%	42	37	88.1%
吉川区	451	326	72.3%	51	39	76.5%
大島区	34	15	44.1%	4	4	100%
大潟区	20	20	100%	2	2	100%
合計	909	690	75.9%	99	82	82.8%

○回答者の属性：

質問内容	選択肢	R6	R7	増減 (ポイント)
<b>質問2</b> 性別	男性	70.7%	69.0%	△1.7
	女性	28.7%	30.7%	2.0
	無回答	0.6%	0.3%	△0.3
<b>質問3</b> 年齢	20歳未満	0.4%	0.3%	△0.1
	20歳代	0.5%	1.7%	1.2
	30歳代	3.3%	3.9%	0.6
	40歳代	5.9%	7.5%	1.6
	50歳代	12.6%	12.8%	0.2
	60歳代	33.0%	32.3%	△0.7
	70歳代	34.7%	31.2%	△3.5
	80歳以上	9.1%	10.3%	1.2
	無回答	0.5%	0.0%	△0.5

## 2 分析結果

### 【事前学習及び訓練参加状況】

質問内容	行動した人の割合		増減 (ポイント)	考察
	R6	R7		
<b>質問4</b> 「屋内退避マニュアル」を確認したか	80.4%	83.3%	2.9	マニュアルを確認した人の割合が向上しており、防災意識が高まっていることが窺える。
<b>質問4- (1)</b> マニュアルの内容は理解できたか	95.0%	95.4%	0.4	
<b>質問5</b> 訓練に参加したか	60.3%	64.9%	4.6	訓練開催時期が前年度の冬季から秋季になったことで、参加率が上昇したと窺える。
<b>質問6- (1)</b> 市が発信した情報は伝わったか	96.3%	92.2%	△4.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体を通して行動を行った人の割合が8~9割を超えており、屋内退避時の行動について理解がされていることが窺える。</li> <li>質問6-(1)について、市が発信した情報が伝わったという回答は9割を超えていた一方で、一部では市の防災無線が聞こえなかったという意見があり、前年比減となった。山間部では屋外の放送が反響し聞こえづらいという声もあった。</li> <li>それぞれの実施率はばらつきがあり、特に「窓などに隙間がないか確認」「非常時持ち出し品の準備」については相対的に低い数値となった。</li> </ul>
<b>質問6- (2) ※1</b> 建物の中に入ったか	97.9%	98.6%	0.7	
<b>質問6- (3) ※1</b> ドアや窓を閉めたか	98.5%	98.2%	△0.3	
<b>質問6- (4) ※1</b> 換気扇など外気を取り込む設備を止めたか	92.1%	92.7%	0.6	
<b>質問6- (5)</b> 窓などに隙間がないか確認したか	55.5%	60.9%	5.4	
<b>質問6- (6)</b> 非常時持ち出し品の準備をしたか (もしくは、準備していたか)	33.7%	38.6%	4.9	
<b>質問6- (7) ※1</b> 食品はフタやラップをして冷蔵庫等に保管したか	81.8%	82.8%	1.0	
<b>質問6- (8) ※2</b> ペットを屋内に入れたか	96.0%	87.9%	△8.1	
<b>質問6- (9) ※1</b> 外から帰ったら、顔や手を洗い、うがいをしたか	93.9%	92.3%	△1.6	

※1 質問4以降について、「無回答」は集計対象としない。

※2 質問6-(2)~(4)、質問6-(7)、質問6-(9)において、訓練前から行動していたと回答した人は“行動した人”に含めた。

※3 ペットを飼っている人を集計対象とし、屋内でペットを飼っている人は“ペットを屋内に入れた”の行動に含めた。

【一時移転時の避難行動の理解度】

質問内容	知っている人の割合		増減 (ポイント)	考察
	R6	R7		
<b>質問 7-1)</b> バス避難の際の一時集合場所を知っているか	68.8%	64.2%	△4.6	各項目において、「知っている」とした人が前年度を下回っており、一時移転時の避難行動についての理解度を今後向上させていく必要がある。
<b>質問 7-2)</b> 避難経路を知っているか	65.0%	60.1%	△4.9	
<b>質問 7-3)</b> 避難経路所を知っているか	63.6%	60.4%	△3.2	
<b>質問 7-4)</b> 避難先施設を知っているか	72.6%	72.4%	△0.2	

【避難行動の意向】

質問内容	選択肢	R6	R7	増減 (ポイント)	考察
<b>質問 8)</b> 屋内退避指示が発令された場合にどのような行動を取るか	自宅に留まる（屋内退避）	85.6%	87.1%	1.5	屋内退避指示発令時の行動について、屋内退避を行う人の割合が 98.5%であり、概ね理解されていると窺える。
	近隣の屋内退避所（指定避難所）に移動する	13.1%	11.4%	△1.7	
	その他	1.3%	1.5%	0.2	
<b>質問 9)</b> 一時移転または避難指示が発令された場合にどのような行動を取るか	自家用車で避難	82.1%	82.5%	0.4	避難すると答えた人の割合が前年並みに高く、一時移転指示発令時の行動について概ね理解されていると窺える。
	自治体が手配したバスで避難	16.5%	16.3%	△0.2	
	その他	1.4%	1.2%	△0.2	

【避難退域時検査の理解度】

質問内容	知っている人の割合		増減 (ポイント)	考察
	R6	R7		
<b>質問 10)</b> 避難退域時検査を受けることを知っているか	71.4%	62.7	△8.7	名称の変更に伴い、理解度が低下したと考えられる。
<b>質問 11)</b> 避難退域時検査の後、避難経路所に向かうことを知っているか	65.1%	58.5	△6.6	

【各家庭における食料の備蓄状況】

質問内容	選択肢	R6	R7	増減 (ポイント)	考察
<b>質問 12)</b> 避難に備え、家庭には何日分の食料を備蓄しているか	3日分以上	30.2%	31.6%	1.4	3日分以上の備蓄をする家庭が増加しており、食料備蓄の必要性について意識が高まっていると考えられる。
	1～3日分	46.3%	45.1%	△1.2	
	備蓄していない	23.5%	23.3%	△0.2	

### 【原子力災害時の懸念事項】

質問内容	選択肢	R6	R7	増減 (ポイント)	考察
<b>質問 13</b> 原子力災害が発生した場合に心配なことは何か(上位3つまで選択)	正確な情報が得られるか	66.1%	65.8%	△0.3	住民の心配は多岐に渡るが、特に「正確な情報が得られるか」、「大雪時に安全に避難できるか」という2点については過半数を超える人から心配との回答があった。また、屋内退避に関する不安の声も増加している。
	安全に屋内退避できるか	32.4%	37.2%	4.8	
	屋内退避は被ばくを抑えられるか	44.6%	48.5%	3.9	
	指示に従って冷静に行動できるか	19.8%	16.3%	△3.5	
	避難時に渋滞に巻き込まれないか	34.4%	27.3%	△7.1	
	大雪時に安全に避難できるか	54.7%	57.0%	2.3	
	孤立したら避難できるか	13.6%	15.3%	1.7	
	安定ヨウ素剤を受け取れるか	9.9%	9.3%	△0.6	
	避難行動要支援者が避難できるか	14.4%	10.6%	△3.8	
	その他	2.2%	1.8%	△0.4	
無回答	-	-	-		

### 【全体評価】

1. 訓練時に「建物の中に入った」との回答率(98.6%)や、屋内退避指示が発令された場合に「自宅に留まる」「近隣の屋内退避所に移動する」との回答率(98.5%)が高くなっている。UPZにおいて最も重要な避難行動である「屋内退避」について、原子力防災訓練の実施や、原子力防災ガイドブックの配布などの啓発活動により、住民にきちんと理解されているものと考えられる。

→質問 6-(2)、質問 8

2. 一方で、屋内退避や大雪時の避難行動に対する不安の声も昨年度より多く見られるようになった。原子力災害に対する住民の不安解消が図られるよう、屋内退避の重要性や複合災害時の避難体制などについて、引き続き、国(内閣府、原子力規制庁)や県に対し住民に分かりやすい説明を行うよう求めていくとともに、市としても出前講座等の啓発活動や防災訓練に継続的に取り組んでいく必要がある。

→質問 13

3. 非常用持ち出し品の準備について、訓練前に配布した屋内退避マニュアルや、原子力防災ガイドブックにも明記しているものの、準備した人の割合が低いため、準備の必要性についての周知に力を入れていく必要がある。

→質問 6-(6)

4. 前年度と比べ大きく低下した一時移転や避難退域時検査等の避難行動について、今後更なる周知活動が必要である。「原子力災害時の一時集合場所・避難経路・避難経由所・避難所一覧」を訓練マニュアルやガイドブックと併せて配布を行い、周知を図っていく。

→質問 7、質問 10、質問 11

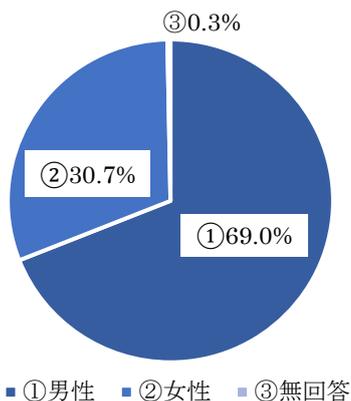
### 3 アンケート結果

※端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

**質問1** あなたのお住まいの町内会を教えてください。

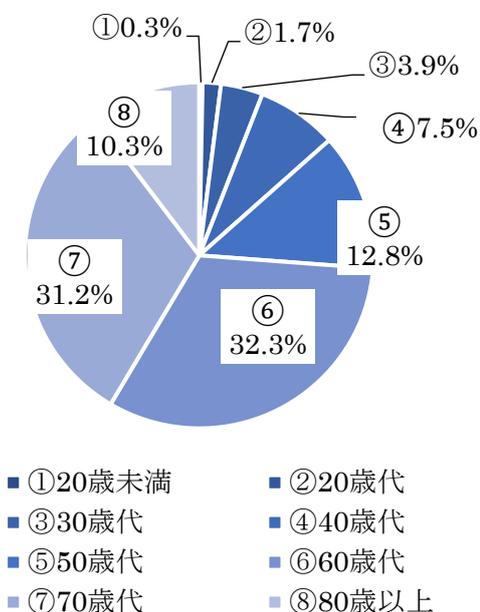
・省略

**質問2** あなたの性別を教えてください。



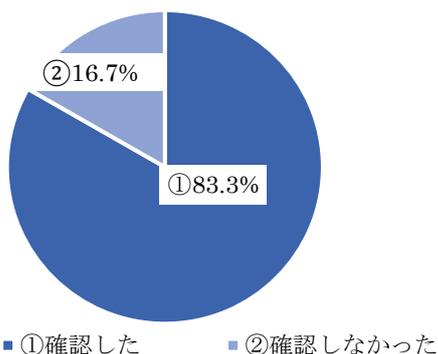
	回答数	割合
①男性	476	69.0%
②女性	212	30.7%
③無回答	2	0.3%
合計	690	

**質問3** あなたの年齢（令和7年4月1日現在）を教えてください。



	回答数	割合
①20歳未満	2	0.3%
②20歳代	12	1.7%
③30歳代	27	3.9%
④40歳代	52	7.5%
⑤50歳代	88	12.8%
⑥60歳代	223	32.3%
⑦70歳代	215	31.2%
⑧80歳以上	71	10.3%
⑨無回答	0	0%
合計	690	

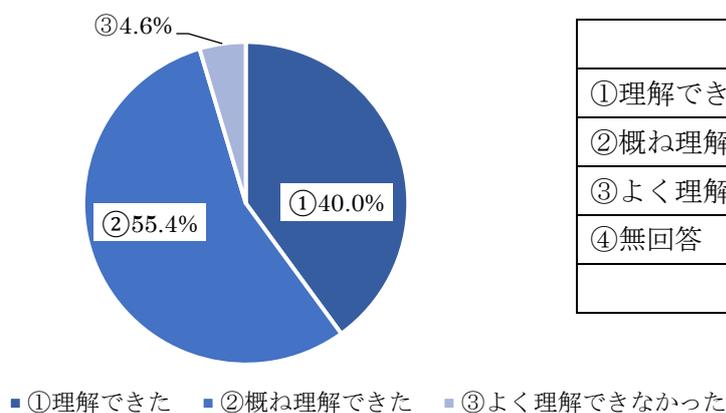
**質問 4** 訓練前に配布した「原子力災害に備えた屋内退避マニュアル」を確認しましたか。



	回答数	割合
①確認した	552	83.3%
②確認しなかった	111	16.7%
③無回答	27	-
合計	690	

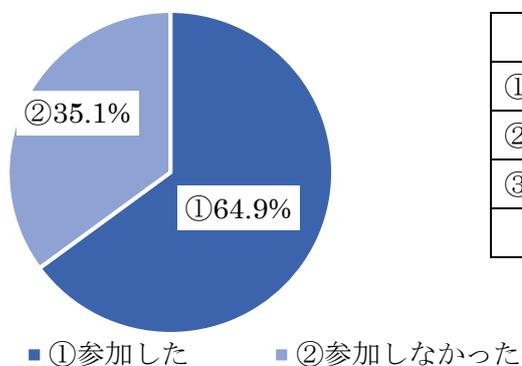
**【「確認した」を選択した人のみに質問】**

「原子力災害に備えた屋内退避マニュアル」の内容は理解できましたか。



	回答数	割合
①理解できた	210	40.0%
②概ね理解できた	291	55.4%
③よく理解できなかった	24	4.6%
④無回答	27	-
合計	552	

**質問 5** 訓練に参加しましたか。 ※「参加しなかった」を選択した人は**質問 7**へ



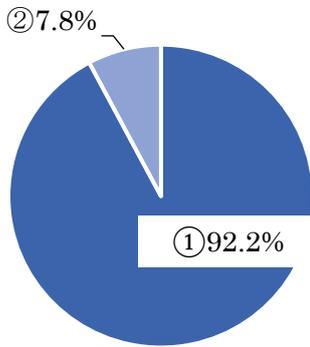
	回答数	割合
①参加した	446	64.9%
②参加しなかった	241	35.1%
③無回答	3	-
合計	690	

**【参加しなかった理由】**

・「参加しなかった」を選択した 241 人のうち 120 人から回答があり、仕事のため参加できなかったと回答した人が 42 人（35%）で最多となった。

**質問6** 「原子力災害に備えた屋内退避マニュアル」の「屋内退避チェックリスト」にある項目の実施状況についてお聞きします。

(1) 市が防災行政無線や広報車で発信した情報はあなたに伝わりましたか。

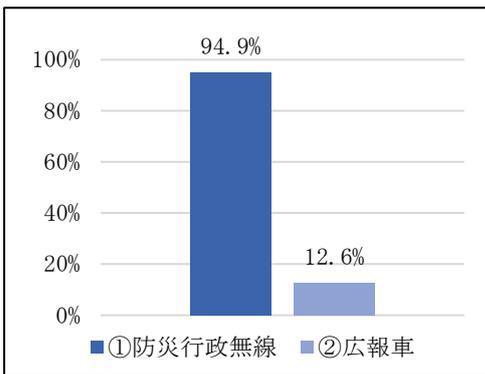


	回答数	割合
①伝わった	428	92.2%
②伝わらなかった	36	7.8%
③無回答	226	-
合計	690	

- ①伝わった
- ②伝わらなかった

【「伝わった」を選択した人のみに質問】

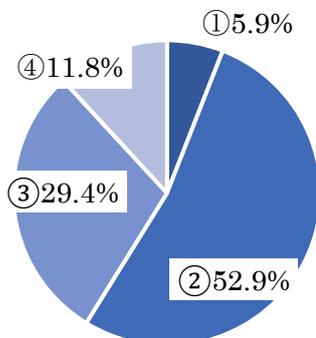
それは、どの広報手段でしたか。(複数回答可)



	回答数	割合
①防災行政無線	406	94.9%
②広報車	54	12.6%

【「伝わらなかった」を選択した人のみに質問】

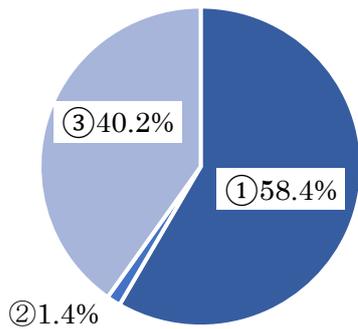
その理由も教えてください。



	回答数	割合
①内容が難しくて理解できなかった	2	5.9%
②内容がうまく聞き取れなかった	18	52.9%
③まったく聞こえなかった	10	29.4%
④その他	4	11.8%
⑤無回答	2	-
合計	36	

- ①内容が難しくて理解できなかった
- ②内容がうまく聞き取れなかった
- ③まったく聞こえなかった
- ④その他

(2) 建物の中に入りましたか。 ※「入らなかった」を選択した人は質問7へ

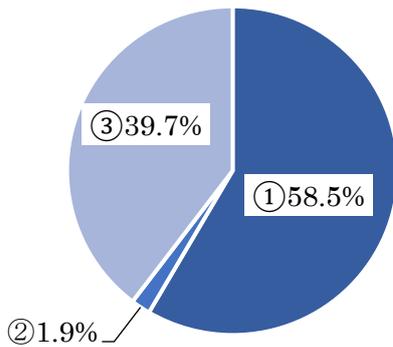


- ① に入った
- ② 入らなかった
- ③ 訓練前から屋内にいた

	回答数	割合
① に入った	256	58.4%
② 入らなかった	6	1.4%
③ 訓練前から屋内にいた	176	40.2%
④ 無回答	252	-
合計	690	

※以降(3)~(9)は、(2)で①又は③と回答した人(432人)が対象

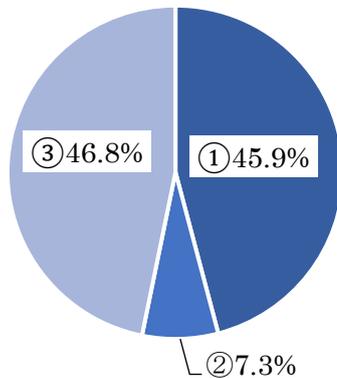
(3) 外気が入らないよう、ドアや窓を閉めましたか。



- ① 閉めた
- ② 閉めなかった
- ③ 訓練前から閉まっていた

	回答数	割合
① 閉めた	252	58.5%
② 閉めなかった	8	1.9%
③ 訓練前から閉まっていた	171	39.7%
④ 無回答	1	-
合計	432	

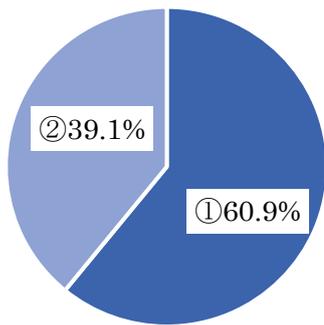
(4) 換気扇など、外気を取り込む設備を止めましたか。



- ① 止めた
- ② 止めなかった
- ③ 訓練前から止まっていた

	回答数	割合
① 止めた	196	45.9%
② 止めなかった	31	7.3%
③ 訓練前から止まっていた	200	46.8%
④ 無回答	5	-
合計	432	

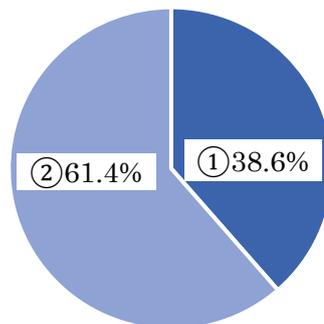
(5) 窓などに隙間がないか確認しましたか。



■ ①した      ■ ②しなかった

	回答数	割合
①した	260	60.9%
②しなかった	167	39.1%
③無回答	5	-
合計	432	

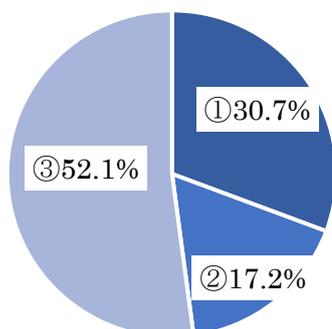
(6) 避難に備え、非常時持ち出し品を準備しましたか（もしくは、準備していましたか）。



■ ①した      ■ ②しなかった

	回答数	割合
①した	164	38.6%
②しなかった	261	61.4%
③無回答	7	-
合計	432	

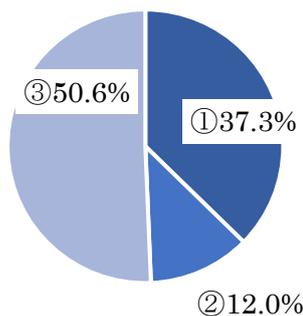
(7) 食品はフタやラップをして冷蔵庫や戸棚に保管しましたか。



■ ①した  
■ ②しなかった  
■ ③食品を出していなかった

	回答数	割合
①した	132	30.7%
②しなかった	74	17.2%
③訓練中は食品を出していなかった	224	52.1%
④無回答	2	-
合計	432	

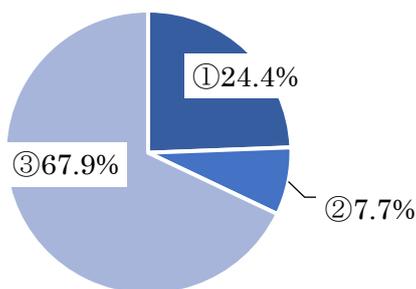
(8) ペットを屋内に入れましたか。



- ①入れた
- ②入れなかった
- ③屋内で飼っている

	回答数	割合
①入れた	31	37.3%
②入れなかった	10	12.0%
③もともと屋内で飼っている	42	50.6%
④ペットを飼っていない	338	-
⑤無回答	11	-
合計	432	

(9) 外から帰ったときは、顔や手を洗い、うがいをしましたか。

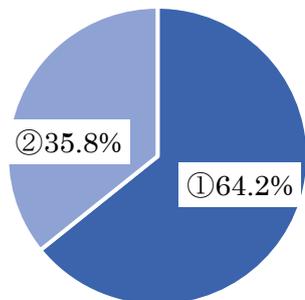


- ①した
- ②しなかった
- ③訓練前から屋内にいた

	回答数	割合
①した	105	24.4%
②しなかった	33	7.7%
③訓練前から屋内にいた	292	67.9%
④無回答	2	-
合計	432	

**質問7** 原子力災害時における、あなたがお住まいの地域の避難計画（①バスで避難する場合の一時集合場所、②避難経路、③避難経由所、④避難先の施設）を知っていますか。

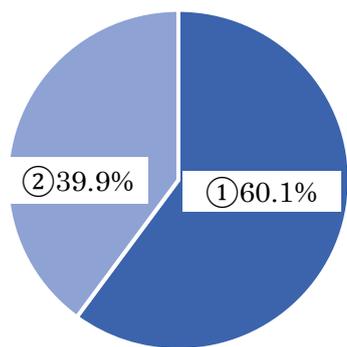
①バスで避難する場合の一時集合場所



- ①知っている
- ②知らない

	回答数	割合
①知っている	422	64.2%
②知らない	235	35.8%
③無回答	33	-
合計	690	

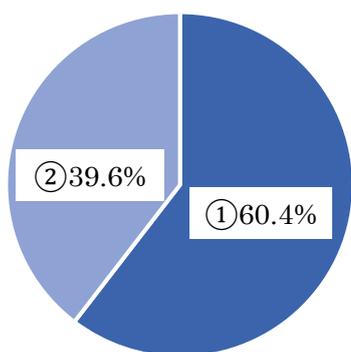
## ②避難経路



■ ①知っている ■ ②知らない

	回答数	割合
①知っている	398	60.1%
②知らない	264	39.9%
③無回答	28	-
合計	690	

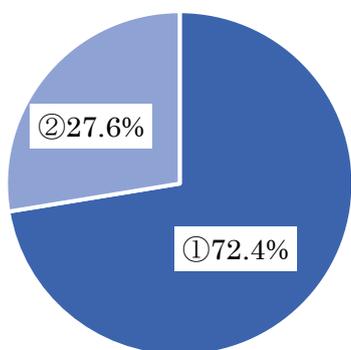
## ③避難経由所



■ ①知っている ■ ②知らない

	回答数	割合
①知っている	396	60.4%
②知らない	260	39.6%
③無回答	34	-
合計	690	

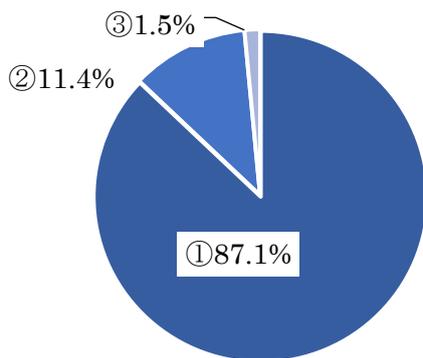
## ④避難先の施設



■ ①知っている ■ ②知らない

	回答数	割合
①知っている	479	72.4%
②知らない	183	27.6%
③無回答	28	-
合計	690	

**質問 8** あなたがお住まいの地域に屋内退避指示が出された場合、どのような行動を取りますか。



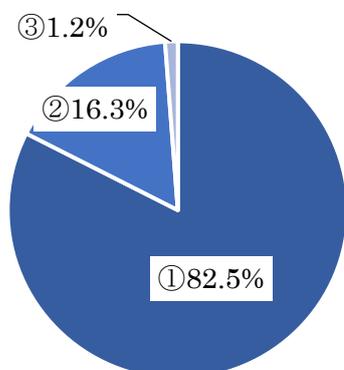
	回答数	割合
①自宅に留まる（屋内退避）	589	87.1%
②近隣の屋内退避所（指定避難所）に移動する	77	11.4%
③その他	10	1.5%
④無回答	14	-
合計	690	

- ①自宅に留まる（屋内退避）
- ②近隣の屋内退避所（指定避難所）に移動する
- ③その他

**【「その他」の主な回答内容】**

- ・自家用車で一刻も早く非難する。
- ・県外へ向かう。

**質問 9** あなたがお住まいの地域に一時移転又は避難指示が出された場合、どのような行動をとりますか。



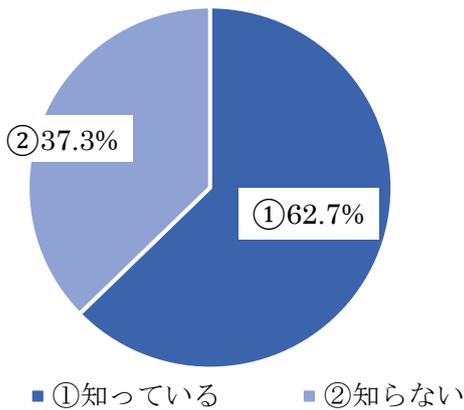
	回答数	割合
①自家用車で避難	556	82.5%
②自治体の手配したバスで避難	110	16.3%
③その他	8	1.2%
④無回答	16	-
合計	690	

- ①自家用車で避難
- ②自治体の手配したバスで避難
- ③その他

**【「その他」の主な回答内容】**

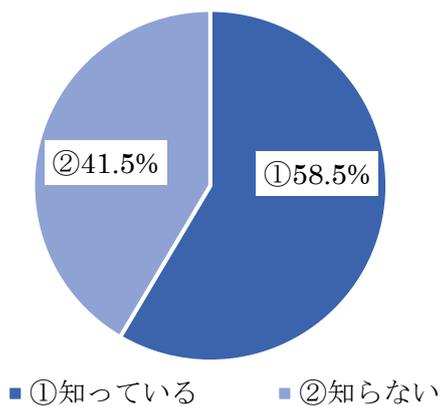
- ・足がないため自宅に留まる。
- ・周りの様子を見る。
- ・指示が出る前に県外へ避難する。

質問 1 0 一時移転又は避難の際に、避難退域時検査を受けることをご存知ですか。



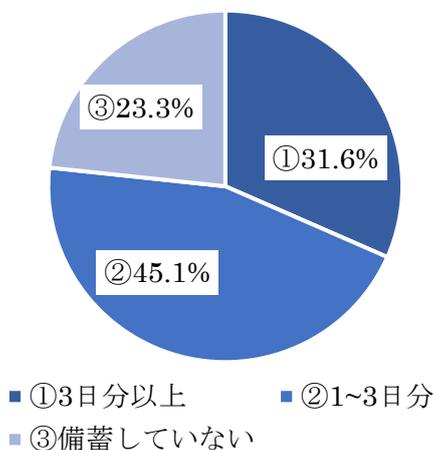
	回答数	割合
①知っている	423	62.7%
②知らない	252	37.3%
③無回答	15	-
合計	690	

質問 1 1 一時移転又は避難の際に、避難退域時検査を受けた後、避難経路所に向かうことをご存知ですか。



	回答数	割合
①知っている	391	58.5%
②知らない	277	41.5%
③無回答	22	-
合計	690	

質問 1 2 災害に備え、ご家庭には何日分の食料等を備蓄していますか。

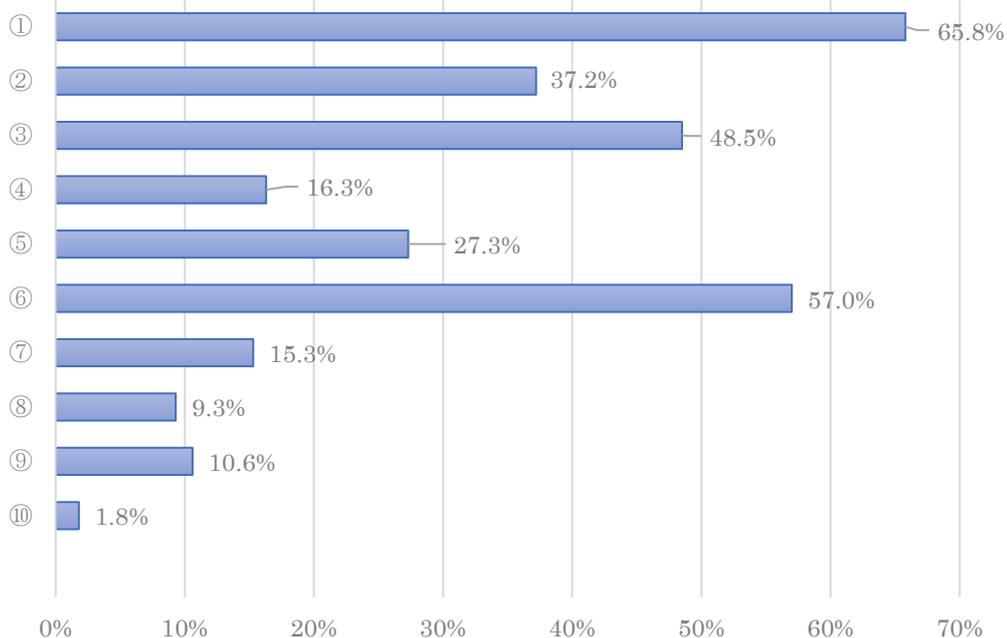


	回答数	割合
①3日以上	215	31.6%
②1~3日分	307	45.1%
③備蓄していない	159	23.3%
④無回答	9	-
合計	690	

質問 13 万が一、原子力災害が発生した場合に心配だと思うことは何ですか。(上位 3 つを選んでください。)

	回答数	割合
①正確な情報が入手できるか	448	65.8%
②自宅や避難所で安全に屋内退避ができるか	253	37.2%
③屋内退避により被ばくを抑えることができるのか	330	48.5%
④市の指示に従って冷静に避難行動をとれるか	111	16.3%
⑤一時移転や避難の際に渋滞に巻き込まれないか	186	27.3%
⑥大雪時に安全な一時移転や避難ができるか	388	57.0%
⑦孤立した時はどうやって避難するのか	104	15.3%
⑧安定ヨウ素剤を確実に受け取れるか	63	9.3%
⑨避難行動要支援者を安全に避難させられるか	72	10.6%
⑩その他	12	1.8%
⑪無回答	9	-
合計	1,976	

原子力災害が発生した場合に心配だと思うこと



**質問 1 4** 訓練や原子力災害時の避難など全般に関するご感想、ご意見がありましたら記入してください。(自由記述)

- ・寄せられた意見 (123 件) の一部

**(1) 訓練実施・内容【15 件】**

- ・災害は忘れた頃にやってくるので、訓練はその時にでき得る最善の対応がとれるのでとても意義深いと思います。しっかり備えれば命を守ることができる。
- ・学校でも原子力防災訓練を実施すべきだと思います。
- ・訓練は必要と思うが、過度の想定に対する心配もどうかと思う。
- ・昼間の想定だが、夜間も検討が必要では? など

**(2) 事前周知・普及啓発【5 件】**

- ・地域や町内の代表ではなく、一般の住民対象のDVD等を活用したわかりやすい研修会等を沢山開催してほしい。
- ・町内毎に避難状態毎の案内を配布してほしい。災害発生時はパニックになると思われます。自宅の目に届く所に避難用具とともに掲示したい。 など

**(3) 情報伝達【19 件】**

- ・放送が聞き取りづらい。
- ・スマホ等で情報がすべて早く入手できるとよい。
- ・どこにいても正確な情報が入手できるかが不安。 など

**(4) 避難行動(屋内退避・一時移転等)【46 件】**

- ・避難場所・施設や避難経路の定期的な見直しが必要。
- ・一定期間のうちに地域から離れるとの事。1週間も待ってますがすぐにでも避難したいです。大丈夫と言われますが不安です。
- ・大雪・地震等の複合災害時に冷静に避難行動をするのは無理だと思う。
- ・避難になった時、老人宅等の支援に不安がある。 など

**(5) 安定ヨウ素剤【1 件】**

- ・大雪のときに安定ヨウ素剤は受け取れない。家族が帰省しているときに安定ヨウ素剤は受け取れるのか。

**(6) 災害への備え【3 件】**

- ・屋内退避ということですが、仮に長期間退避となった場合、食料等の確保をどのようにすれば良いか、今後自分自身考えなければならぬと思った。 など

**(7) その他【34 件】**

- ・風評被害が心配です。
- ・避難後に家に帰れるのか、農作業が続けられるのか心配。 など

## 【参考資料】

### アンケート様式



(2) 建物の中に入りましたか。

- 入った
- 入らなかった → **質問7**へお進みください
- 訓練前から屋内にいた

(3) 外気が入らないよう、ドアや窓を閉めましたか。

- 閉めた
- 閉めなかった
- 訓練前から閉まっていた

(4) 換気扇など、外気を取り込む設備を止めましたか。

- 止めた
- 止めなかった
- 訓練前から止まっていた

(5) 窓などに隙間がないか確認しましたか。

- した
- しなかった

(6) 避難に備え、非常時持ち出し品を準備しましたか（もしくは、準備してましたか）。

- した
- しなかった

(7) 食品はフタやラップをして冷蔵庫や戸棚に保管しましたか。

- した
- しなかった
- 訓練中は食品を出していなかった

(8) ペットを屋内に入れましたか。

- 入れた
- 入れなかった
- もともと屋内で飼っている
- ペットを飼っていない

(9) 外から帰ったときは、顔や手を洗い、うがいをしましたか。

- した
- しなかった
- 訓練前から屋内にいた

質問7

原子力災害時における、あなたがお住まいの地域の避難計画（①バスで避難する場合の一時集合場所、②避難経路、③避難経由所、④避難先の施設）を知っていますか。

①バスで避難する場合の一時集合場所

- 知っている
- 知らない

②避難経路

- 知っている
- 知らない

③避難経由所

- 知っている
- 知らない

④避難先の施設

- 知っている
- 知らない

質問8

あなたがお住まいの地域に屋内退避指示が出された場合、どのような行動を取りますか。

- 自宅に留まる（屋内退避）
- 近隣の屋内退避所（指定避難所）に移動する
- その他 → 下記にあなたの行動を記入してください

[ ]

質問9

あなたがお住まいの地域に一時移転\*指示や避難指示が出された場合、どのような行動を取りますか。

- 自家用車で避難（自身もしくは家族の車、および親族・知人の車など）
- 自治体が手配したバスで避難
- その他 → 下記にあなたの行動を記入してください

[ ]

※一時移転…避難が必要な放射線量よりは低い地域が、余計な被ばくを避けるため、一定期間（1週間程度）のうちにその地域から離れること

質問10

一時移転や避難の際に、避難退域時検査\*を受けることを知っていますか。

- 知っている
- 知らない

※避難退域時検査…一時移転や避難する時に、人や車などに放射性物質が付着していないか確認する検査のこと

**質問 1 1** 一時移転や避難の際に、避難退域時検査を受けた後、避難経由所に向かうことを知っていますか。

- 知っている
- 知らない

**質問 1 2** 避難に備え、ご家庭には何日分の食料等を備蓄していますか。

- 3日分以上
- 1～3日分
- 備蓄していない

**質問 1 3** 万が一、原子力災害が発生した場合に心配だと思うことは何ですか。（上位3つを選んでください。）

- 正確な情報が入手できるか
- 自宅や避難所で安全に屋内退避ができるか
- 屋内退避により被ばくを抑えることができるのか
- 市の指示に従って冷静に避難行動をとれるか
- 一時移転や避難の際に渋滞に巻き込まれないか
- 大雪時に安全な一時移転や避難ができるか
- 孤立した時はどうやって避難するのか
- 安定ヨウ素剤を確実に受け取れるか
- 避難行動要支援者を安全に避難させられるか
- その他（ ）

**質問 1 4** 訓練や原子力災害時の避難など全般に関するご感想、ご意見がありましたら記入してください。

[ ]

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

《本アンケートに関するお問合せ・提出先》

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| ・ 市民安全課 原子力防災対策室        | 電話：025-520-5663 FAX：025-526-5061<br>E-mail：shimin-anzen@city.joetsu.lg.jp |
| ・ 柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ  | 電話：025-536-2211 FAX：025-536-2227<br>E-mail：kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp  |
| ・ 吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ  | 電話：025-548-2311 FAX：025-548-3011<br>E-mail：yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp |
| ・ 大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ  | 電話：025-534-2111 FAX：025-534-5532<br>E-mail：ogata-ku@city.joetsu.lg.jp     |
| ・ 大島区総合事務所 総務・地域振興グループ  | 電話：025-594-3101 FAX：025-594-3105<br>E-mail：oshima-ku@city.joetsu.lg.jp    |
| ・ 浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ | 電話：025-599-2301 FAX：025-599-2225<br>E-mail：uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp |